

ART NEWS TOKYO

アート・ニュース・トーキョー

2011
4-6

東京 + アート + カルチャー

東京都庭園美術館

東京都江戸東京博物館

江戸東京たてもの園

東京都写真美術館

東京都現代美術館

東京都美術館

東京文化会館

東京芸術劇場

トーキョーワンダーサイト



INTERVIEW

村治佳織 / 東京文化会館

ミュージアム&シアター最新情報
2011年4-6月スケジュール



東京都歴史文化財団
TOKYO METROPOLITAN
FOUNDATION FOR
HISTORY AND CULTURE

ART NEWS TOKYO

アート・ニュース・トーキョー 2011 4-6

村治佳織さんが語る 私を育ててくれた街・上野

「上野公園は思い出が詰まった大切な場所」と言うギタリストの村治さん。
台東区出身の彼女に、上野と東京文化会館の魅力を語っていただきました。

クラシック音楽の歴史と 伝統に抱かれて



台東区に生まれ育った私にとって、上野は本当に慣れ親しんだ場所。子どもの頃には、父や弟と上野公園でセミ採りもしましたし、小学校の課外授業では国立西洋美術館で美術鑑賞をしたり、上野動物園に行ったり、あらゆる場所を訪れました。音楽活動で思い出深いのは、14歳の時に、東京文化会館の小ホールで行われた東京国際ギター・コンクールで、1位をいただいたこと。それがギタリスト村治佳織の、デビューのきっかけとなりました。

実は私、今すぐ上野にハマっているんです。20代の時は、パリに留学したことで改めて日本の良さに気づき、地元浅草によく通ったのですが、30代に入った今は、子どもの頃にお世話になった街を再発見しようと、もっぱら上野に足を運んでいます。とくに夢中になっているのは上野動物園。ただ単に「動物がかわいい」というだけでなく、「本来は野生の生き物なのに、彼らはここで生きてくれているんだ」なんて、子どもの頃とは違った視点で動物を眺めています。年間パスポートを持っているので、好きな動物を10分見て、帰

りに美術展をまわるなど、上野を効率よく楽しんでいます。

東京文化会館という素晴らしいホールや、東京藝術大学がある上野公園は、音楽ファンにとっては、やはり特別な場所だと思います。残念ながら東京藝術大学にはギター科がないので、私がここに通う機会はありませんでしたが、上野にはクラシックを日本に根付かせた奏楽堂があり、学生たちは100年以上も前から、この緑豊かな環境で音楽を学んできました。そんな音楽の歴史と伝統ある場所に建ち、なおかつ世界に恥じない音響と施設をもった東京文化会館は、日本人の音楽家なら誰もがここで演奏したいと思う憧れのホールです。

来年の3月になりますが、東京文化会館の小ホールにおいて、「祝祭と音楽」というテーマでレクチャーコンサートを行います。私にとって「祝祭」といえば、台東区の盆踊り。今でも盆踊りのお囃子や音色を聞くと、血が沸き立ちます。そんな日常生活に彩りを添える「ハレの日」の気持ちを、ヨーロッパの音楽との関わりにおいて再確認し、ギターで表現していきたいな、と思っています。



PROFILE

むらじ・かおり 台東区出身。3歳よりギターを始めて頭角をあらわし、93年にはデビューリサイタルを開催。パリ留学より帰国した99年以降、本格的なソロ活動を開始し、国内外のオーケストラや室内楽団と共演、いずれも好評を博す。東京文化会館では2011年秋に東京都交響楽団と共演予定。2012年3月2日(金)19:00から 小ホールのレクチャーコンサート「祝祭と音楽」シリーズで、「祈りと祭り」と音楽とをテーマに演奏会を行う。

東京文化会館

今年50周年を迎える東京文化会館は、東京都の開都500年事業として建設され、1961年(昭和36)年にオープンした。建築は日本におけるモダニズム建築の旗手・故前川國男の代表作で、オペラ、バレエ、オーケストラなどの公演を行う大ホール(2303席)、室内楽やリサイタル等で使用される小ホール(649席)の他、リハーサル室や各種会議室、さらに専門の音楽図書館である音楽資料室も完備。大ホール、小ホールともに、「奇跡的」とも称される音響の良さが知られている。開館以来、オペラ、バレエ、クラシックコンサートなど、世界中の著名なアーティストによる名演の数々が繰り広げられてきた東京文化会館は、まさに日本のクラシック界をリードする「音楽の殿堂」といえるだろう。



東京文化会館舞台芸術創造プログラム

『万葉集』明日香風編〈2011改訂版〉&二上挽歌編(新作初演)

〈音楽／千住 明 台本／黛まどか〉



中嶋克彦 小林沙羅 千住 明 大友直人 黛まどか 富岡明子 和田ひでき

6月4日(土)・5日(日) 開演:14:00(開場:13:30)

「クラシックの殿堂」東京文化会館は、今年開館50周年を迎える伝統あるホールです。日本の歴史や文化を活かしながら、現代に求められる新しい作品を創造するというコンセプトのもと、日本最古の歌集を題材としたオペラ『万葉集』シリーズを制作しています。毎回『万葉集』に登場する人物に焦点を当て、その人物の生涯を人気女流俳人・黛まどかが描きます。今回は、万葉集最大の女流歌人「額田王」の生涯を描いた「明日香風編」の再演と、「大津皇子」と「大伯皇女」へのレクイエム「二上挽歌編」を初演いたします。人望に厚く文武両道に秀で、生まれながらにして統治者にふさわしい器を持っていたがために、謀反の疑いをかけられ無念の死を遂げた「大津皇子」と、姉である「大伯皇女」の愛と悲劇。千数百年の時を越えて、現代にも貴かれた普遍の愛を黛まどかと千住明が紡ぎ上げます。

出演:指揮/大友直人、ソプラノ/小林沙羅、メゾ・ソプラノ/富岡明子、テノール/中嶋克彦、バリトン/和田ひでき、コーラス/二期会合唱団 他

会場:東京文化会館 小ホール

料金(全席指定):6,000円

主催・制作:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館

チケット取扱:東京文化会館チケットサービス 他



ココが見どころ!

東京文化会館の春はドラマがいっぱい。なかでも、鏡女王と額田王の姉妹と中大兄皇子と大海人皇子の兄弟が入り乱れる波乱万丈の恋争いを描いた『万葉集』明日香風編は、言葉も音楽も美しく、涙を禁じえない名作。2011改訂版と共に新作の「二上挽歌編」もどうぞ!

東京文化会館 事業企画課 古川由布

東京文化会館レクチャーコンサート season 2011-2012 「祝祭と音楽」シリーズ [全5回]

東京文化会館は2011年で開館50年。レクチャーコンサートはシリーズ10年目を迎えました。脈々と続く歴史を、節目の年に相応しい豪華アーティスト陣によりお贈りします。

第1回「バンドネオンに乾杯!」6月17日(金) 開演:19:00(開場:18:30)
開館50周年の東京文化会館と生誕90年のピアソラ。交差するふたつのメモリアルイヤーを、バンドネオンの俊英・三浦一馬が華やかに祝います。
出演:ナビゲーター&バンドネオン/三浦一馬 曲目:A.ピアソラ/リベルタンゴ、A.ヒナステラ/アルゼンチン舞曲集 Op.2より「粋な娘の踊り」 他

第2回「祝祭の象徴」9月16日(金) 開演:19:00(開場:18:30)
節目の年に、フランスの至宝バスキエが贈るフレンチ・ソナタ。その昔バリエ万博でも演奏され、幸福感に満ち溢れたフォーレのソナタで至福の時を。
出演:ナビゲーター&ヴァイオリン/レジス・バスキエ 曲目:フォーレ/ヴァイオリン・ソナタ第1番 Op.13、ドビュッシー/ヴァイオリン・ソナタ 他

第3回「日本発信の輝かしきマリンバ音楽の歴史」11月18日(金) 開演:19:00(開場:18:30)
安倍圭子が築き上げたマリンバ音楽の歴史。安倍のたゆまぬ開拓と発展の軌跡と、音楽文化の発信拠点であり続けた東京文化会館、それぞれの「半世紀」に思いを馳せる一夜。
出演:ナビゲーター&マリンバ/安倍圭子 曲目:安倍圭子/祭りの太鼓 他

第4回「謝肉祭と神の祝福」2012年1月9日(月・祝) 開演:14:00(開場:13:30)
小さな体からダイナミックな表現力がほとばしる“小菅優”。彼女の想像力の翼に乗って、生誕200年のリストや、シューマンの謝肉祭をご堪能あれ!
出演:ナビゲーター&ピアノ/小菅優 曲目:シューマン/謝肉祭「4つの音符による面白い情景」、リスト/「詩的で宗教的な調べ」より第3番「孤独の中の神の祝福」 他

第5回「祈りと祭りと音楽と」2012年3月2日(金) 開演:19:00(開場:18:30)
ギターはクラシック音楽を民衆へと解放した楽器のひとつ。シリーズ10年目の締めくくりは、待望の村治佳織が地元・東京文化会館で“祝祭”を奏でます!
出演:ナビゲーター&ギター/村治佳織 曲目:アントニオ・ルイス=ビボー/歌と踊り 第1番、ホアキン・ロドリゴ/祈りと踊り(フアリャを聴いて) 他

会場:東京文化会館 小ホール 料金(全席指定):一般S席3,800円 A席2,800円 B席1,000円
※各種割引あり 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館
チケット取扱:東京文化会館チケットサービス 他
お得な年間セット券のご案内
年間セット券(全5回)単券SS席15,000円 S席12,000円/ペア券SS席26,000円 S席20,000円
発売日:第2回 6月17日、第3回 7月20日、第4回 9月16日、第5回 11月18日 発売予定

おすすめスポット

東京文化会館アーカイブ

2011年の開館50周年を機に、これまで当館で上演されたすべての公演の基本情報をインターネット上で検索・閲覧できる「東京文化会館アーカイブ」が4月に公開されます。(実際の公演プログラムは、音楽資料室でご覧いただけます。)どうぞご利用ください。
アーカイブは東京文化会館HPからアクセスできます。http://www.t-bunka.jp/
音楽資料室 電話:03-3828-2111(代表) 開室日、開室時間等については当館HPをご覧ください



三浦一馬 ©ピクチャーエンタテインメント(株)



レジス・バスキエ



安倍圭子



小菅優 ©Steffen Janicke



村治佳織 ©Kiyotaka Saito



クロード・ロラン《小川のある森の風景》1630 東京富士美術館蔵

森と芸術展

4月16日(土)ー7月3日(日)

人間にとって森はいかなる存在か
多様な表現からその答えを探る

文明の進展によって、失われつつある森。神話画や風景画、工芸品など、森はこれまで多くの作家によって作品に描かれてきました。その表現は古今東西でさまざまですが、それぞれの作品には森へのノスタルジア、憧憬などが投影されているように思われます。本展では絵画や工芸、写真、博物標本など森に関わる約180点の作品を展示し、それらの表現から「森が人間にとっていかなる存在か」を見つめなおします。アンリ・ルソーの楽園図やポール・ゴーギャンの描くタヒチの森、風景画の巨匠クロード・ロランの描く森、植物文様をモチーフとしたエミール・ガレの優美なガラス工芸、マックス・エルンストやルネ・マグリットらシュルレアリスムの画家が描いた神秘と幻想の森……。緑豊かな都心の森の中にたたくも美術館で出会う作品の数々が、私たちのうちにひそむ「森の記憶」を呼び覚まします。

入場料 一般1000(800)円、学生800(640)円、小中高生と65歳以上500(400)円。()内は20名以上の団体料金。障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。

会場 東京都庭園美術館
休館 第2・第4水曜日
主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
後援 東京都
協力 日本通運
年間協賛 戸田建設、東京ガス
企画協力 アートプランニング レイ



ルイ・ポール・アンリ・セリュジエ《プルトーニョのアンヌ女公への礼賛》1922 ヤマザキマサツク美術館蔵



ドーム兄弟《キノコ文花瓶》
1907-11年頃 個人蔵



川田喜久治《地獄の入り口 イタリア、ヴィテルボ、ポマルツォ
((聖なる森-Parco dei Mostri)より)) 1969 作家蔵



ココが見どころ!

森は癒しの場であると共に、畏れをも感じさせる場所です。森の何が人にそのような気持ち呼び起こすのでしょうか。本展では古今の美術作品を通じて、人間の心の中にひそむ森への思いを探ります。あなたの心の中の森を探してみてください。

東京都庭園美術館 学芸員 河村三枝子

おすすめスポット

「Photo Gallery (フォトギャラリー)」

今回の展覧会では「森」が大きなキーワードになっています。桜から新緑に移り変わる季節、庭園美術館の小さな森で展覧会の余韻に浸ってみてはいかがでしょうか。また、現在ホームページでは「Photo Gallery」を開催中です。庭園のお気に入りのスポットを写真におさめて投稿していただくホームページに掲載されるかも!? <http://www.teien-art-museum.ne.jp/garden/photo.html>





狩野一信《五百羅漢圖 第22幅 六道 地獄》 増上寺蔵

法然上人八百年御忌奉賛 特別展「五百羅漢一増上寺秘蔵の仏画 幕末の絵師 狩野一信」

3月15日(火)ー5月29日(日)

知られざる絵師・狩野一信が残した
空前絶後の羅漢図を一挙公開

港区芝に所在する増上寺は、徳川將軍家の菩提寺として広く知られていますが、その蔵の中に羅漢図が眠っていることはほとんど知られていません。この羅漢図を描いたのは、狩野一信。幕末の江戸に生きた絵師です。彼は、中国から伝来した羅漢図の形式や狩野派の伝統手法、洋風の陰影法、遠近法などを取り入れながら、5人ずつの羅漢を100幅に描くという空前絶後の羅漢図を構想。約10年の歳月を制作に費やしますが、96幅まで描き終えたところで病没しました。残された4幅は妻と弟子とで完成させ、文久3(1863)年に増上寺へ奉納されました。本展では、狩野一信の渾身の作である「五百羅漢図」100幅すべてを一挙公開します。奉納から150年の時を経て甦る幻の大作の全貌を、この機会にぜひご堪能ください。

入場料: 一般1,300(1,040)円、学生1,040(830)円、小中高生と65歳以上650(520)円。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。会場: 東京都江戸東京博物館 1階展示室 休館: 月曜日(ただし3月21日は開館、翌日休館)。5月2・16日は開館) 主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、大本山 増上寺、日本経済新聞社 企画協力: 浅野研究所



狩野一信《五百羅漢図 第51幅 神通》 増上寺蔵

企画展「芝 増上寺 ～秀忠とお江の寺～」

3月15日(火)ー5月29日(日)

増上寺には、NHK大河ドラマ「江」の主人公・江とその夫の徳川秀忠が埋葬されています。本展では、徳川綱吉の墨蹟や將軍家へ降嫁した皇女・和宮の遺品など増上寺が所蔵する貴重な寺宝を展示。室町時代に創建され、その後將軍家の庇護を受け栄えてきた増上寺の歴史をたどります。

入場料: 一般600(480)円、学生480(380)円、中学生(都外)・高校生と65歳以上300(240)円。中学生(都内)・小学生以下無料。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。会場: 東京都江戸東京博物館 常設展示室5階 休館: 月曜日(ただし3月21日は開館、翌日休館)。5月2・16日は開館) 主催: 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館



《紙本着色法然上人伝 上巻》 鎌倉時代 増上寺蔵



ココが見どころ!

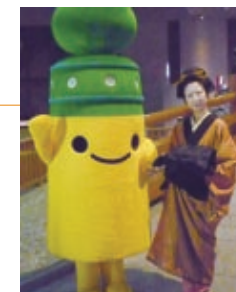
都心にありながら、いまでも江戸時代の面影を伝える増上寺。企画展「芝増上寺～秀忠とお江の寺～」では、重要文化財「紙本着色法然上人伝」など数々の寺宝とともに、増上寺の歴史をご紹介します。また、江戸かりの最勝院からも貴重な資料を展示します。

東京都江戸東京博物館 学芸員 大橋菜都子

おすすめスポット

江戸東京博物館キャラクター ギボちゃん お正月に登場!

開館10周年を記念して、日本橋の欄干の擬宝珠(ぎぼし)をいただいた親柱をイメージして誕生したキャラクター「ギボちゃん」が、今年のお正月の2日間(1月2日と9日)、常設展をはじめ、館内各所でお客さまとふれあいました。2日はぶらぶらしていたナゾの町人とも出会い、日本橋でパチリ! ギボちゃんは今後も館内やさまざまな場所に出没します。お楽しみに!





《蛭川家上屋敷絵図》 江戸東京博物館蔵

武家屋敷の表と奥

4月23日(土)ー7月10日(日)

江戸城から下級幕臣の屋敷まで
構造から見えてくる生活と文化

武家屋敷における「表」と「奥」とは、単に間取りのみを指すものではありません。「表」とは、男性である当主や家臣が政治に関わる任務を執り行う場であり、対して「奥」は家族の生活空間で、夫人や女中が世継ぎを生み育てる、いわば家の再生産を行う場です。また、当主の居住空間は、表と奥の中間に位置する例が多くみられます。こういった構造は江戸城から御家人の住まいまで、すべてに共通して見られる特徴であり、表と奥双方の機能で、武家屋敷は成り立っていたのです。本展では、このような構造に注目し、屋敷図面などを紹介します。とりあげるのは、将軍の住まいである江戸城の本丸御殿をはじめ、大名の江戸藩邸、蛭川家や本多家といった旗本の屋敷、下級幕臣であった町奉行と力都築家の八丁堀の住まいです。大きな屋敷から小さな屋敷まで、武家屋敷の構造・機能を歴史的背景とともに分析しながら通観します。

入 場 料 一般400(320)円、学生320(250)円、中学生(部外)・高校生と65歳以上200円(160)円。中学生(部内)・小学生以下無料。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。

会 場 江戸東京たてもの園 展示室
休 園 月曜日(祝日の場合は翌日)ただし5月2日は開園
主 催 東京都 江戸東京たてもの園



《都筑十左衛門宅普請絵図》
江戸東京博物館蔵



御所人形 江戸東京博物館蔵



朱房付十手 江戸東京博物館蔵



陣羽織 江戸東京博物館蔵



ココが見どころ!

同じ屋敷図面を分析しても、建築学や歴史学など専門が違えば、視点や解説の仕方が異なります。今回は歴史的背景を念頭に、当主の居住場所に着目しました。図面からは家族構成や住んでいた人たちの息吹も感じられます。様々な図面を展示しますので屋敷の規模にも注目してください。

江戸東京たてもの園 学芸員 畑 尚子

おすすめスポット

吉野家 茅葺き屋根の葺き替え

たてもの園には4棟の茅葺き屋根の農家があります。茅葺き屋根は風雨にさらされたり、カラスなどが巣作りに茅を抜くため、だんだんと痛んでいきます。小規模な修繕は差し茅といって、新しい茅を部分的に差し入れますが、今回吉野家では全面的に葺き替えることになりました。右は古い茅がはずされ、「屋根かご」が見える状態になった写真です。4月からは新しい茅がふかれた吉野家がお目見えします。





高山正隆《楽器を持つ女》1924

芸術写真の精華

日本のピクトリアリズム 珠玉の名品展

3月8日(火)－5月8日(日)

日本ならではの感性から生まれた
世界に誇る芸術写真の数々を展覧

19世紀後半にヨーロッパで展開された「ピクトリアリズム」とは、絵画を模倣することで写真表現の芸術性を追究した芸術運動です。日本でも、伝統的な絵画や当時伝わったばかりの西洋絵画を規範として、独自の芸術写真を確立しました。本展では、明治期後半から1930年代までの日本におけるピクトリアリズムの作品を展示。写真家たちが模索し続けた、日本独自の美意識にもとづく情緒豊かな表現をお楽しみください。

入場料:一般800(640)円、学生700(560)円、中高生・65歳以上600(480)円。()は20名以上の団体料金。小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。

会場:東京都写真美術館 3階展示室

休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

助成:財団法人朝日新聞文化財団 **協賛:**資生堂、凸版印刷、東京都写真美術館支援会員

ジョセフ・クーデルカ「プラハ 1968」

この写真を一度として見ることもなかった両親に捧げる

5月14日(土)－7月18日(月・祝)

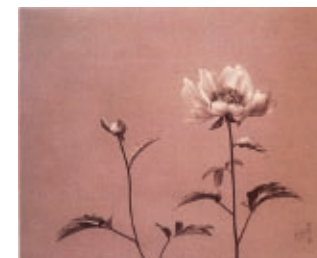
チェコスロヴァキア生まれの写真家ジョセフ・クーデルカ。1968年に起きたワルシャワ条約機構軍によるプラハ侵攻、通称「チェコ事件」取材した彼は、街を埋め尽くした戦車に勇敢に立ち向かう市民たちの攻防の様子を撮影しました。本展ではその貴重な記録写真を展示します。

入場料:一般800(640)円、学生700(560)円、中高生・65歳以上600(480)円。()は20名以上の団体料金。小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。

会場:東京都写真美術館 2階展示室 **休館日:**月曜日(祝日の場合は翌日)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、朝日新聞社

協賛:東京都写真美術館支援会員 **協力:**平凡社、マグナム・フォト東京 他



梅坂鷺里《芍薬》1931



黒川翠山《題不詳》
1906年頃



ジョセフ・クーデルカ《2度にわたり、人がいなくなったヴァーツラフ広場》8月22日、23日
Josef Koudelka / Magnum Photos, from the book Invasion : 68 Prague (Aperture, September 2008)



ココが見どころ!

本展では日本のピクトリアリズム表現の珠玉の名品を一挙に公開します。中でも顔料で画像をつくる写真の古典技法「ピグメント印画法」による作品は、世界に類を見ない美しさです。一点に思いを込めた匠の技をご堪能ください。

東京都写真美術館 学芸員 金子隆一

トピックス

来館者数が500万人を達成しました

東京都写真美術館は1995年1月に総合開館して以来、2011年2月6日に来館者数が500万人を達成しました。皆様のご来館とご支援に心より感謝申し上げます。記念セレモニーでは、江川副館長より500万人目の来館者の方に感謝状と記念品が贈呈されました。また「来館者500万人目はいつ達成?」クイズや、特製ポストカードをプレゼントするなどイベントを開催しました。今後も皆様と親しまれ、満足していただける美術館をめざして参ります。

2階エントランスロビーにて





鶴岡政男《重い手》1949 ※第4回日本アンデパンダン展(日本美術会主催) 出品作

MOTコレクション

クロニクル1947-1963 | アンデパンダンの時代

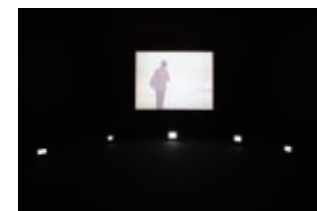
2月26日(土)ー5月8日(日)

常設展示「MOTコレクション」では、収蔵品を多角的な視点から紹介しています。「クロニクル」とは戦後日本美術を見直すことを目的としたテーマ展示です。今回は日本美術会と読売新聞社がそれぞれに主催していた、無審査・自由出品の展覧会「アンデパンダン」をとりあげます。多くの人に美術の門戸を開き、創造と発表を促した「アンデパンダン」という場、そこで作家が感じたことがどのように作品に託されたかを再検証します。また、モナ・ハトゥームのガラスのインスタレーションや、山川冬樹の映像作品なども併せてご覧いただけます。

入場料：一般500(400)円、学生400(320)円、高校生・65歳以上250(200)円、中学生以下無料。
()は20名以上の団体料金。
会場：東京都現代美術館 常設展示室 1階・3階
休館：月曜日(祝日の場合は翌日)
主催：東京都、東京都現代美術館



モナ・ハトゥーム《ウェブ》2007-2010 撮影:木奥恵三



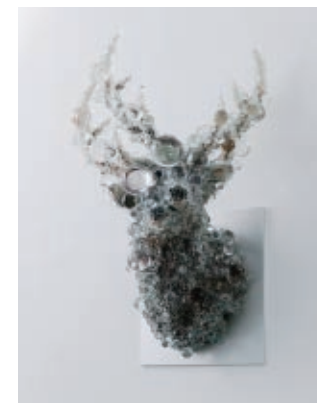
山川冬樹《The Voice-Over》1997-2008
撮影:木奥恵三

名和晃平 展

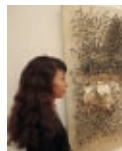
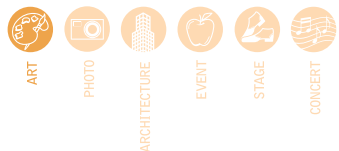
6月11日(土)ー8月28日(日)

「Cell」をテーマに先鋭的な空間表現を展開するアーティスト、名和晃平(1975年生まれ)。本展は、公立美術館では初となる本格的な名和の個展です。パラレルに姿を変え、多義的に表現される名和作品の根幹と新たな可能性を、「BEADS」などの各カテゴリーの方向性やその相互の関係から探ります。

入場料：一般1,100(880)円、学生・65歳以上800(640)円、中高生600(480)円。()は20名以上の団体料金。
会場：東京都現代美術館 企画展示室 地下2階・アトリウム
休館：月曜日(祝日の場合は翌日)。8月15・22日は開館
主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館



名和晃平《PixCell-Double Deer#3》2010
Photo:表恒匡
Courtesy of SCAI THE BATHHOUSE



ココが見どころ!

収蔵作品のなかから、2つのアンデパンダン展に出品・関連するものを選び、借用作品と併せて展示することで、「アンデパンダン」展のもつ広がりや豊かさを紹介しています。汲めども尽きぬ作品の魅力をぜひ味わってみてください。

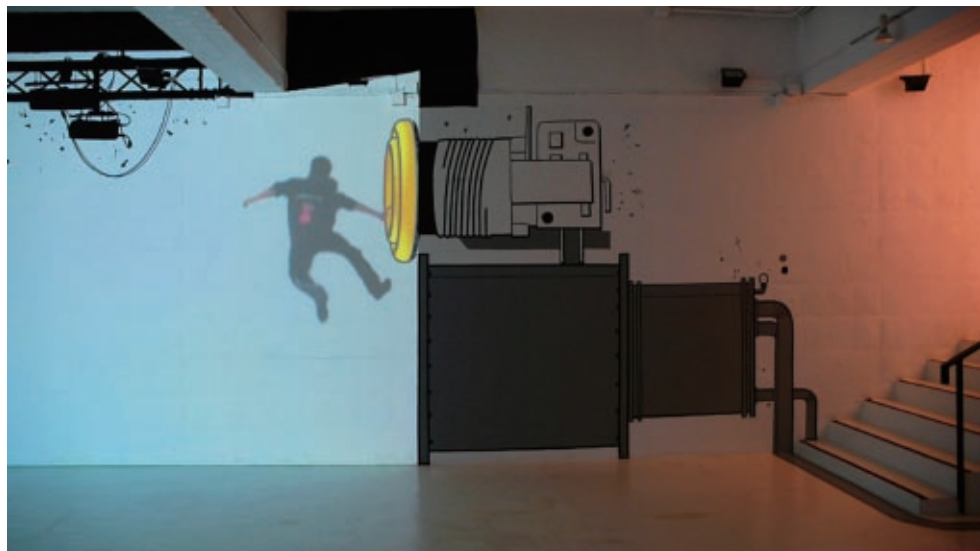
東京都現代美術館 学芸員 藤井亜紀

おすすめスポット

エントランスホールから見る東京スカイツリー

ある日、建設中のスカイツリーを見ることができ場所を偶然発見しました。ここは、メインエントランスから入ってすぐの左手、チケット売り場の手前です。お隣の木場公園にもいくつかベストスポットがありますよ! お天気の良い日には、ぜひ探してみてくださいね。





Juan López Díez 《Today I aspire to nothing》 Joan Miró Foundation 2009

レジデンス成果発表展覧会

TWS青山: 4月2日(土) - 4月16日(土)

TWS渋谷: 4月2日(土) - 5月15日(日)

TWS本郷: 4月2日(土) - 5月22日(日)

2006年から始まったトーキョーワンダーサイト青山: クリエーター・イン・レジデンスには、国内外のクリエイターが年間約100名滞在し、調査、制作を行っています。また、毎年様々なアーティスト達が日本を旅立ち、海外でのレジデンスを終え戻ってきています。平成22年度にTWS青山: クリエーター・イン・レジデンスにて滞在制作したクリエイターや、海外提携レジデンス施設に派遣されたクリエイターたちの成果発表展をTWS青山、TWS渋谷、TWS本郷の3館で開催します。

会場: トーキョーワンダーサイト青山: クリエーター・イン・レジデンス、トーキョーワンダーサイト渋谷、トーキョーワンダーサイト本郷

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

入場料: 無料

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト

TWS-Emerging 2011

6月4日(土) - 10月23日(日)

2001年の開館以来、トーキョーワンダーサイトは様々な分野の若手支援、育成のプログラムを行ってきました。その一つであるTWS-Emergingは、東京都主催の公募展「トーキョーワンダーウォール(TWW)」と連携したプログラムです。本年度はTWW入選者より20名が選ばれ、4名ずつ順に紹介していきます。第1回目は6月4日～26日に、のびアニキ、Takiguchi、宮田智加子、鈴木彩也香の個展を開催します。

会場: トーキョーワンダーサイト本郷

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

入場料: 無料

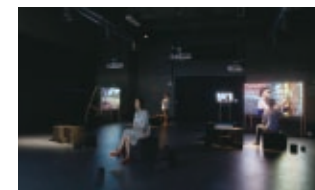
主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト

おすすめスポット

トーキョーワンダーサイト アートカフェ kurage

トーキョーワンダーサイト渋谷に併設されたアートカフェ kurageは、アートラバーが集うカフェです。このほど店内を一部改装し、トーキョーワンダーサイト渋谷で開催中のアートプロジェクトとリンクしたアート作品などを展示しています。是非、お越しください!

営業時間: 10:00 ~ 23:30 (ラストオーダー 23:00)



Alexander Kershaw



Ei Arakawa and Karl Holmqvist 《pOEntry pArk》2010
Photo: Polly Braden



田村友一郎「Sister Cities | Different Mother
荒木 悠 | 田村友一郎」2010、TWS本郷での展示



OPEN STUDIO 2010
ゲストトーク(池谷 薫氏)

ココが見どころ!

様々な創造的分野で活躍する世界中のクリエイターが滞在し、刺激を受けながら創作活動を行っているトーキョーワンダーサイト青山: クリエーター・イン・レジデンス。その制作の現場を一般公開する「OPEN STUDIO 2011」を開催。各分野のスペシャリストによるゲストトークなども実施しますので、この機会をお見逃しなく!

参加費: 無料 ※詳細は当館ホームページをご覧ください。(http://www.tokyo-ws.org)

4

アート&カルチャーカレンダー ART & CULTURE CALENDAR

■休館日は各館異なります。カレンダー下の休館日欄をご確認ください。
○下記は主な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。
企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。
○掲載した情報は2011年3月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。
○掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。

APRIL		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM																		森と芸術展 4月16日～7月3日								庭園ツアー 29日 14:00～15:30 (雨天の場合、翌30日に順延)					
東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM	1F 特別展	法然上人八百年御忌奉賛 特別展 五百羅漢 増上寺秘蔵の仏画 幕末の絵師 狩野一信 3月15日～5月29日																													
	常設展	企画展 芝増上寺 ～秀忠とお江の寺～ 3月15日～5月29日										特集展示 日本橋～木の橋から石の橋へ～ 3月29日～5月15日										特集展示 豆腐小僧あらわる！ 4月12日～5月22日									
江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM	展示室	特別展 武蔵御嶽神社と高尾山薬王院 1月15日～4月10日															特別展 武家屋敷の表と奥 4月23日～7月10日														
	園内											● 9日・10日 伝統工芸の実演 10:30～16:30					● 武蔵野えとまる団 4月16日・17日 13:00～16:30					● ミュージアムトーク 4月23日 14:30～									
東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY	3F 展示室	芸術写真の精華 日本のビクトリアリズム 珠玉の名品展 3月8日～5月8日																													
	2F 展示室	夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 四国・九州・沖縄編 3月8日～5月8日																													
	B1F 展示室	ベッティナ ランス写真展 女神たちの楽園 セレブたちの美しき幻影と気品 3月26日～5月15日																													
東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO	常設展示室	MOTコレクション クロニクル1947-1963 アンデパンダンの時代 2月26日～5月8日																													
	3F・2F 企画展示室	MOTアニュアル2011 Nearest Faraway 世界の深さのはかり方 2月26日～5月8日																													
	1F・B2F 企画展示室	田窪恭治展 風景芸術 2月26日～5月8日																													
東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM	企画展示室	●改修工事のため休館(平成24年度リニューアル開館)																													
トーキョーワンダーサイト TOKYO WONDER SITE	本郷	レジデンス成果発表展覧会 4月2日～5月22日																													
	渋谷	レジデンス成果発表展覧会 4月2日～5月15日																													
	青山	レジデンス成果発表展覧会 4月2日～4月16日															協働スタジオプログラム 4月17日～4月24日														

●休館日：月曜日(祝日の場合は翌日) ※東京都庭園美術館は第2・4水曜日休館

●2011年4月1日～2012年8月31日改修工事のため全面休館

東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN		主な主催公演	●休館日:18日、19日
7日 大ホール	東京文化会館50周年バースデーコンサート 指揮:エリアフ・インバル 管弦楽:東京都交響楽団 開演:19:00		
20日 小ホール	東京文化会館モーニングコンサートVol.47 安部まりあ(ピアノ) 開演:11:00		

東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE		主な主催公演
4月	都民コンサート 日程:1、6、8、13、20、22、27日 開演:12:00 会場:日比谷公園 小音楽堂 ※雨天中止。詳細はHPへ	無料

5

アート&カルチャーカレンダー ART & CULTURE CALENDAR

■休館日は各館異なります。カレンダー下の休館日欄をご確認ください。
○下記は主な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。
企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。
○掲載した情報は2011年3月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。
○掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。

MAY		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31									
		日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火									
東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM		森と芸術展 4月16日～7月3日															●ギャラリートーク 12日 15:30～			●ギャラリートーク 26日 15:30～																					
東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN ED0-TOKYO MUSEUM	1F 特別展	法然上人八百年御忌奉賛 特別展 五百羅漢 増上寺秘蔵の仏画 幕末の絵師 狩野一信 3月15日～5月29日																																							
	常設展	企画展 芝増上寺 ～秀忠とお江の寺～ 3月15日～5月29日															特集展示 日本橋～木の橋から石の橋へ～ 3月29日～5月15日																特集展示 豆腐小僧あらわる！ 4月12日～5月22日								
江戸東京たてもの園 ED0-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM	展示室	特別展 武家屋敷の表と裏 4月23日～7月10日																																							
	園内	●●● 子どもの日イベント 4日・5日															●●● 武蔵野えどまる団 4日・5日 13:00～16:30										●●● 伝統工芸の実演 14日・15日 10:30～16:30						ミュージアムトーク 28日 14:30～●								
東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY	3F 展示室	芸術写真の精華 日本のビクトリアリズム 珠玉の名品展 3月8日～5月8日															コレクション展 こどもの情景—戦争とこどもたち 5月14日～7月10日																								
	2F 展示室	夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 四国・九州・沖縄編 3月8日～5月8日															ジョセフ・クーデルカ 「ブラハ1968」 5月14日～7月18日																								
	B1F 展示室	ベッティナ ランス写真展 女神たちの楽園 セレブたちの美しき幻影と気品 3月26日～5月15日															JPS展 5月21日～6月5日																								
東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO	常設展示室	M0Tコレクション クロニクル1947-1963 アンデパンダンの時代 2月26日～5月8日																																							
	3F企画展示室	M0Tアニュアル2011 Nearest Faraway 世界の深さのはかり方 2月26日～5月8日															トーキョーワンダーウォール公募2011 入選作品展 5月28日～6月19日																								
	1F-B2F 企画展示室	田窪恭治展 風景芸術 2月26日～5月8日																																							
東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM	全館	●改修工事のため休館(平成24年度リニューアル開館)																																							
トーキョーワンダーサイト TOKYO WONDER SITE	本郷	レジデンス成果発表展覧会 4月2日～5月22日																																							
	渋谷	レジデンス成果発表展覧会 4月2日～5月15日																																							
	青山																																								

●休館日：月曜日(祝日の場合は翌日) ※東京都庭園美術館は第2・第4水曜日休館 ※東京都江戸東京博物館は2・16日開館 ※江戸東京たてもの園、東京都写真美術館は2日開館 ※東京都現代美術館は9～27日展示替えのため休館

●2011年4月1日～2012年8月31日改修工事のため全面休館

東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN		休館日:16日
19日 ホワイエ	ティートタイムコンサート 開演:13:00	無料
20日 小ホール	東京文化会館モーニングコンサートVol.48 武田章寛(ヴァイオリン) 開演:11:00	
24日 小ホール	創遊・奏落らいぶ Vol.16 音楽家と落語家のコラボレーション 落語/桂 米助 ヴァイオリン/瑞穂 ハーブ/徳永泰子 開演:11:00	

東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE		休館日:16日
5月	都民コンサート 日程:11、13、18、20、25、27日 開演:12:00 会場:日比谷公園 小音楽堂 ※雨天中止。詳細はHPへ	無料

6

アート&カルチャーカレンダー ART & CULTURE CALENDAR

■ 休館日は各館異なります。カレンダー下の休館日欄をご確認ください。
○ 下記は主な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。
○ 企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。
○ 掲載した情報は2011年3月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。
○ 掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。

JUNE		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	水
東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM		森と芸術展 4月16日～7月3日					● ギャラリートーク 9日 15:30～												● ギャラリートーク 23日 15:30～												
東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN ED0-TOKYO MUSEUM	1F 特別展	特別展「東京の交通100年博～都電・バス・地下鉄の“いま・むかし”～」 6月21日～8月28日																													
	常設展	企画展「発掘された日本列島2011」 6月11日～7月31日																													
江戸東京たてもの園 ED0-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM	展示室	特別展 武家屋敷の表と奥 4月23日～7月10日																													
	園内	伝統工芸の実演 11日・12日 10:30～16:30 ●●												武蔵野えどまる団 18日・19日 13:00～16:30 ●●						● ミュージアムトーク 25日 14:30～											
東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY	3F 展示室	コレクション展 こどもの情景—戦争と子どもたち 5月14日～7月10日																													
	2F 展示室	ジョセフ・クーデルカ 「ブラハ1968」 5月14日～7月18日																													
	B1F 展示室	JPS展 5月21日～6月5日												世界報道写真展2011 6月11日～8月7日																	
	常設展示室	MOTコレクション 6月4日～10月2日																													
東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO	3F 企画展示室	トーキョーワンダーウォール公募2011 入選作品展 5月28日～6月19日																													
	B2F 企画展示室	名 和晃平 展 6月11日～8月28日																													
東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM	全館	●改修工事のため休館(平成24年度リニューアル開館)																													
トーキョーワンダーサイト TOKYO WONDER SITE	本郷	TWS-Emerging 156/157/158/159 のびア ニキ、Takiguchi、宮田智加子、鈴木彩也香 6月4日～6月26日																													
	渋谷																														
	青山																														

● 休館日：月曜日(祝日の場合は翌日) ※東京都庭園美術館は第2・4水曜日休館

東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN		● 休館日:28日	
主な主催公演			
4日 小ホール	舞台芸術創造プログラム 「万葉集」 開演:14:00	21日 ホワイエ 無料	ティータイムコンサート 開演:13:00
5日 小ホール	舞台芸術創造プログラム 「万葉集」 開演:14:00		
8日 小ホール	東京文化会館モーニングコンサートVol.49 濱地 宗(ホルン) 開演:11:00		
17日 小ホール	レクチャーコンサート2011-2012 「祝祭と音楽」シリーズ 第1回「バンドネオンに乾杯!」 ナビゲーター&バンドネオン/三浦一馬 開演:19:00		

東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE		●2011年4月1日～2012年8月31日改修工事のため全面休館	
主な主催公演			
24日～27日 水天宮ピット	芸劇eyes番外編 若手5劇団が競演するショーケーススタイル 参加劇団(50音順):ジエン社、バナナ学園純情乙女組、 範宙遊泳、マームとジブシー、ロロ ※詳細はHPへ		
6月 無料	都民コンサート 日程:1,3,8,10,15,17,22,24,29日 開演:12:00 会場:日比谷公園 小音楽堂 ※雨天中止。詳細はHPへ		

東京文化発信プロジェクト

TOKYO CULTURE CREATION PROJECT



東京文化発信プロジェクト
東京から生まれる新しい文化の波

<http://www.bh-project.jp>
TEL:03-5638-8800 (東京文化発信プロジェクト室)

東京文化発信プロジェクトは、世界の主要都市と競い合える芸術文化の創造発信、芸術文化を通じた子供たちの育成、多様な地域の文化拠点の形成を目的として、東京都と東京歴史文化財団が芸術文化団体、アートNPO等と協力して実施しています。



能と邦楽「隅田の四季」春の景



パフォーマンススキッツ・トーキョー 発表公演
© 鹿島聖子



墨東まちな見世2010 墨東まちな見世さんば
© 田中信子

2011年度の主なプログラム

フェスティバル

東京の「顔」となる様々なジャンルの国際芸術フェスティバルを開催します。

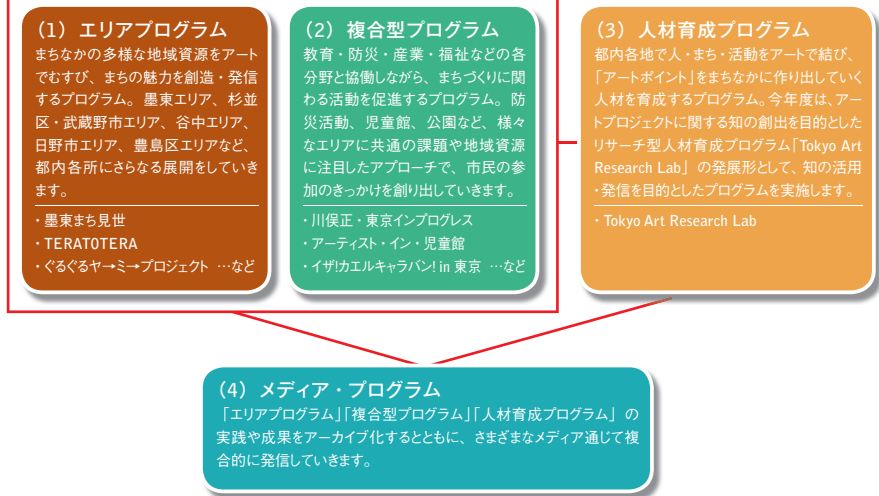
東京発・伝統WA感動	邦楽、日本舞踊などの一流の実演家による公演やワークショップを開催する「伝統芸能公演」、都内の庭園等で本格的な茶席や野点を味わうことのできる「東京大茶会」など、多彩なプログラムを展開します。
フェスティバル/トーキョー	世界の最先端の作品を時差なく紹介する日本最大の国際舞台芸術祭です。クリエイション型フェスティバルとして、多数の新作・世界初演、共同製作品などを上演します。
六本木アートナイト	六本木の街を舞台として一夜限りのアートの饗宴です。アート、デザイン、音楽、舞踊などの作品を街なかに点在させることで、アートと街を一体化させ、非日常的な体験を作り出します。
恵比寿映像祭	東京都写真美術館の全館を使って展開する総合的な映像フェスティバルです。展示、上映、ライブ・イベントなどを複合的にを行い、映像分野における芸術性の高い作品を紹介します。
東京アートミーティング	東京都現代美術館が大学等と連携し、現代アートを中心に、デザイン、建築などの異なる表現ジャンル、およびその他の専門領域が会合することで、新しいアートの可能性を提示します。

キッズ

子供たちが芸術家から継続的に直接指導を受け、その成果を発表します。

東京発・伝統WA感動 キッズ伝統芸能体験	伝統芸能の一流の実演家が子供たちを直接指導する体験プログラム。7か月にわたる稽古を積み重ねた子供たちが、その成果をひのき舞台上で発表します。
パフォーマンススキッツ・トーキョー	ダンスや演劇などのプロのアーティストを学校や文化施設等へ派遣し、ワークショップを行い、子供たちが主役の舞台作品を作り上げ、発表公演を行います。
ミュージック&リズムス TOKYO KIDS	プロの演奏家の指導のもと、子供たちが自然のなかで自ら作った竹の楽器で音楽を創り出し、発表コンサートを行います。
青少年のための 舞台芸術体験プログラム	東京文化会館で行われる国内外の一流のオペラ、バレエなどの公演のゲネプロ(最終リハーサル)を、音楽家や舞台芸術家等を目指す青少年に公開します。

東京アートポイント計画



今年で4年目を迎えた東京文化発信プロジェクトでは、演劇・音楽・伝統・美術など様々な分野のイベント、まちなかで市民とアーティストが協働するアートプログラム、子供向けの体験型プログラムなどの事業を展開しています。大人から子供まで多くの人々に参加していただけるようなプログラムを予定していますので、是非、ご参加ください。

東京文化発信プロジェクト室 事業推進課 吉原宏幸

おすすめスポット

汐入タワー

世界各地でインターローカル(地域間)・アートプロジェクトを展開する、美術家・川俣正によるプロジェクト、「川俣正・東京インプログレス-隅田川からの眺め」。この一環として、都立汐入公園(荒川区南千住8・16水神大橋そば)に東京の変貌を定点観測するための塔が建設されました。この機会にぜひご覧ください。

<http://www.interlocalization.net/tokyoainprogress/>

Photo: Masahiro Hasunuma
© Tadashi KAWAMATA



東京都美術館

TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

リニューアル準備室 TEL: 03-5806-3792 事業係 (展覧会関係) /
03-5806-3723 交流担当 (公募展) / 03-5806-3726 管理係

2012年4月 リニューアルオープン

ユニバーサルデザインを重視した、
より鑑賞しやすい環境に生まれ変わります。



「実施設計模型」より

現在、東京都美術館では、躯体を残した大規模改修が行われています。
上野の森にたたずみ、多くの方に親しまれる“都美館”の表情豊かな暗褐色の外壁など、
設計者・前川國男の建築は、そのまま後世へと継承します。

今回の改修で大きく変わるポイントのひとつは、ユニバーサルデザインの採用です。
地階に位置するメインエントランスへは、従来の階段に加えて、
新たにエスカレーターやエレベーターが設置され、アクセスしやすくなるほか
館内でも、企画展示室とギャラリー (旧彫塑室) にエスカレーターを新設します。

改修工事の進捗状況や、リニューアルオープンに向けての最新情報は、ウェブサイトで公開しております。

*東京都美術館 公式ウェブサイト <http://www.tobikan.jp>

東京芸術劇場

TOKYO METROPOLITAN ART SPACE

<http://www.geigeki.jp/> TEL: 03-5391-2111

改修に伴う全面休館のお知らせ

2011年4月1日から2012年8月31日まで、
改修工事のため全面休館いたします。

主な改修点

- 1990年の開館から20年が経過しているため、老朽化した建物本体の各部と、
設備機器の機能を回復します。
- 劇場としての雰囲気、大ホールの音響、ユニバーサルデザイン等の向上を図ります。
- 大ホールの改修を機に、パイプオルガンのオーバーホール (分解点検) を実施します。

皆さまには大変ご迷惑をお掛けいたしますが、
何卒ご理解ご了承くださいませようお願い申し上げます。
2012年9月1日のリニューアルオープンに、どうぞご期待ください。

なお、休館中の公演情報詳細についてはウェブサイトをご参照ください。

*東京芸術劇場 公式ウェブサイト <http://www.geigeki.jp>



改修イメージ図 (1Fアトリウム)

地図&インフォメーション

公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョー・アート・ナビゲーション
<http://www.rekibun.or.jp> <http://tokyoartnavi.jp>

公益財団法人東京都歴史文化財団管轄施設の観覧料について(対象:東京都庭園美術館の庭園、東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園及び東京都現代美術館の常設展、東京都写真美術館の収蔵展・映像展)
 ●都内在住・在学の中学生、小学生は無料。●65歳以上の方は、一般料金の半額。●毎月第3土曜、第3日曜(家族ふれあいの日)は、18歳未満のお子さまを同伴する方は半額。●観覧料の記載がない場合は、展覧会、催物によって金額が異なります。

01 東京都美術館 (2012年3月まで休館) TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM



TEL: P25を参照 WEB: <http://www.tobikan.jp> 所在地: 〒110-0007台東区上野公園8-36 開: 9:00-17:00 休: 毎月第3日曜日、企画展は月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始・工事休館日 交通: JR上野駅公園口より徒歩7分 / 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅7番出口より徒歩10分 / 京成電鉄上野駅より徒歩10分(※改修工事のため全面休館中、2012年度リニューアル開館)

02 東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN



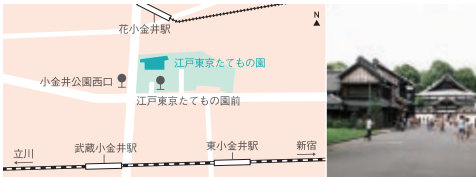
TEL: 03-3828-2111 WEB: <http://www.t-bunka.jp> 所在地: 〒110-8716台東区上野公園5-45 開: 9:00-22:00 休: 年末年始・保守点検日・他 交通: JR上野駅公園口より徒歩1分 / 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅7番出口より徒歩5分 / 京成電鉄上野駅より徒歩7分

03 東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM



TEL: 03-3626-9974 WEB: <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp> 所在地: 〒130-0015墨田区横網1-4-1 開: 9:30-17:30(土・19:30) 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始・国技館で大規模本場所開催中は開館日にも 観覧料: <常設展>一般600円・大学生480円・65歳以上300円・中・高校生以下・都内中学生無料 交通: JR両国駅西口より徒歩3分 / 都営大江戸線両国駅A4出口より徒歩1分

11 江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM

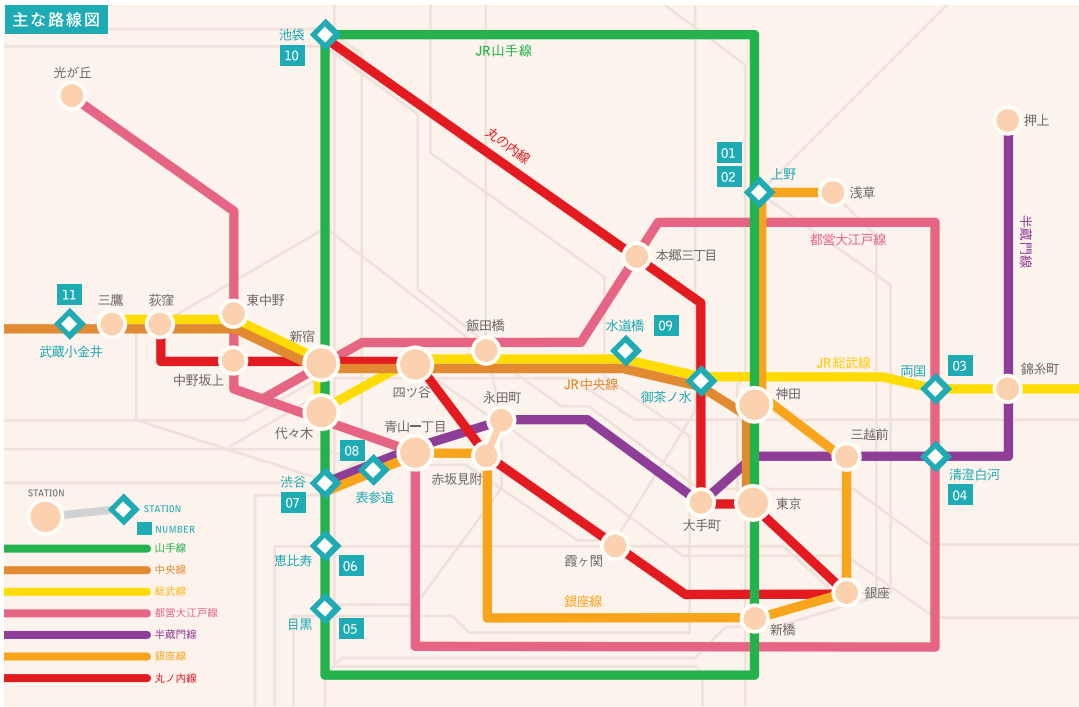


TEL: 042-388-3300 WEB: <http://www.tatemonoen.jp> 所在地: 〒184-0005小金井市桜町3-7-1 開: 9:30-17:30(10~3月・16:30) 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 観覧料: 一般400円、大学生320円、65歳以上200円、中・高生200円、都内中・小学生無料 交通: JR武蔵小金井駅北口よりバス、2・3のりばより「小金井公園西口」下車徒歩5分 / 4のりばより「江戸東京たてもの園前」下車徒歩3分 / 西武新緑線花小金井駅南口よりバス、「南花小金井」(小金井街道沿い)バス停より「武蔵小金井駅」行、「小金井公園西口」下車徒歩5分

10 東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE



TEL: 03-5391-2111 WEB: <http://www.geigeki.jp> 所在地: 〒171-0021豊島区西池袋1-8-1 開: 9:00-22:00 休: 年末年始・保守点検日(毎月2日間程度)・工事休館日 交通: JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分(※改修工事のため全面休館中、2012年度リニューアル開館)



04 東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO



TEL: 03-5245-4111 WEB: <http://www.mot-art-museum.jp> 所在地: 〒135-0022江東区三好4-1-1 開: 10:00-18:00 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始・保守点検日 観覧料: <常設展>一般500円、大学生400円、高校生・65歳以上250円、中学生以下無料 交通: 東京メトロ半蔵門線清澄白河駅B2出口より徒歩9分 / 都営大江戸線清澄白河駅A3出口より徒歩13分 / 東京メトロ東西線木場駅3番出口より徒歩15分 / 「木場駅前」バス停から(業10)「美平橋駅前」行、(東20)「錦糸町駅前」行 / JR東京駅丸の内北口よりバス「錦糸町駅前」行 / JR錦糸町駅よりバス「東京駅丸の内北口」行(すべて「東京都現代美術館前」下車)

05 東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM



TEL: 03-3443-0201 WEB: <http://www.teien-art-museum.ne.jp> 所在地: 〒108-0071港区白金台5-21-9 開: 10:00-18:00 休: 第2・第4水曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通: 都営三田線・東京メトロ南北線白金台駅1番出口より徒歩6分 / JR目黒駅東口・東急目黒線目黒駅正面口より徒歩7分

09 トーキョーワンダーサイト本郷 TOKYO WONDER SITE HONGO



TEL: 03-5689-5331 WEB: <http://www.tokyo-ws.org> 所在地: 〒113-0033文京区本郷2-4-16 開: 11:00-19:00 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通: JR・都営三田線水道橋駅、JR・東京メトロ丸の内線御茶ノ水駅、都営大江戸線本郷三丁目よりそれぞれ7分

08 トーキョーワンダーサイト青山:クリエイター・イン・レジデンス TOKYO WONDER SITE AOYAMA: CREATOR-IN-RESIDENCE



TEL: 03-5766-3732 WEB: <http://www.tokyo-ws.org> 所在地: 〒150-0001渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山SOUTH棟3F 開: オープンスタジオ、レクチャー等開催時のみ一般開館 交通: 東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線表参道駅B2出口より徒歩7分 / JRは渋谷駅より徒歩8分

07 トーキョーワンダーサイト渋谷 TOKYO WONDER SITE SHIBUYA



TEL: 03-3463-0603 WEB: <http://www.tokyo-ws.org> 所在地: 〒150-0041渋谷区神南1-19-8 開: 11:00-19:00 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通: JR・東急東横線・田園都市線・京王井の頭線・東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線渋谷駅ハチ公口より徒歩8分

06 東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY



TEL: 03-3280-0099 WEB: <http://www.syabi.com> 所在地: 〒153-0062目黒区三田1-13-3(恵比寿ガーデンプレイス内) 開: 10:00-18:00(木・金・20:00) 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通: JR恵比寿駅東口より徒歩7分 / 東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分

A guide to the Tokyo's Museums and Cultural Facilities

MAP 05 Tokyo Metropolitan Teien Art Museum

"Forest and Art"

April 16 (Sat.)-July 3 (Sun.)

Hours: 10:00-18:00

Closed: Second and fourth Wednesday of each month

Admission: Adults: ¥1,000

Phone: 03-3443-0201

URL: <http://www.teien-art-museum.ne.jp/>

Access: 7 mins walk from the East Exit of JR Meguro Station

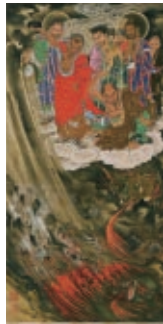


MAP 03 Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

"The Five Hundred Arhats by Kano Kazunobu (1816-63) An Exhibition of the Zojoji Icons in Commemoration of the 800th Memorial of St. Honen"

March 15 (Tue.) - May 29 (Sun.)

Admission: Adults: ¥1,300



"Zojoji Temple: The Resting Place of Hidetada and Gō"

March 15 (Tue.)-May 29 (Sun.)

Admission: Adults: ¥600

Hours: 9:30-17:30 (9:30-19:30 on Saturdays) Closed: Every Monday except May 2, 16 (open on national holidays and substitute holidays, but closed on days following holidays) Phone: 03-3626-9974 URL: <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp/> Access: 3 mins walk from West Exit of JR Ryogoku Sta.

MAP 11 Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

"The Mansions of the Warrior Class Omote and Oku"

April 23 (Sat.)-

July 10 (Sun.)

Hours: 9:30-17:30

Closed: Every Monday

Admission: Adults: ¥400

Phone: 042-388-3300

URL: <http://www.tatemonoen.jp/>

Access: 5 mins walk from Koganei Koen-Nishiguchi bus stop, which is 5 mins by bus from JR Musashikoganei Sta.

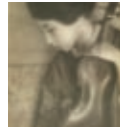


MAP 06 Tokyo Metropolitan Museum of Photography

"Masterpieces of Japanese Pictorial Photography"

March 8 (Tue.)-May 8 (Sun.)

Admission: Adults: ¥800



"Josef Koudelka Invasion: Prague 68"

May 14 (Sat.)-July 18 (Mon.)

Admission: Adults: ¥800

Hours: 10:00-18:00 Closed: Every Monday except May 2 (open on national holidays and substitute holidays, but closed on days following holidays) Phone: 03-3280-0099 URL: <http://www.syabi.com/> Access: 7 mins walk from East Exit of JR Ebisu Sta.

MAP 04 Museum of Contemporary Art Tokyo

"Chronicle 1947-1963 | Days of Independent Art Exhibitions"

February 26 (Sat.)-May 8 (Sun.)

Admission: Adults: ¥500

"Kohei Nawa"

June 11 (Sat.)-

August 28 (Sun.)

Admission: Adults: ¥1,100



Kohei Nawa, *Pixcell-Double Deer #3*, 2010
Photo: OMOTE Nobutada,
Courtesy of SCAI THE BATHHOUSE

Hours: 10:00-18:00 Closed: Every Monday except August 15,22(open on national holidays and substitute holidays, but closed on days following holidays) Phone: 03-5405-8686(Hello Dial) URL: <http://www.mot-art-museum.jp/> Access: 9 mins walk from Tokyo Metro Kiyosumi-Shirakawa Sta.

MAP 01 Tokyo Metropolitan Art Museum

Temporary closed for renovations - will be open in 2012

URL: <http://www.tobikan.jp/>

MAP 02 Tokyo Bunka Kaikan

"Tokyo Bunka Kaikan Stage Art Creation Program OPERA [Concert Style] Manyosyu Asukakaze-hen <2011Revised Production> & New volume (New Production,World Premiere)"

June 4 (Sat.), 5 (Sun.)

Hours: 14:00 (Door open 13:30)

Admission: ¥6,000

Venue: Recital Hall

"Lecture Concerts 2011-2012 <Feast and Music> Series"

June 17 (Fri.)

Hours: 19:00 (Door open 18:30)

Admission: S¥3,800

Venue: Recital Hall

Phone: 03-3828-2111

URL: <http://www.t-bunka.jp/en/>

Access: 1 min walk from the Park Exit of JR Ueno Station

MAP 10 Tokyo Metropolitan Art Space

Temporary closed for renovations - will be open in 2012

URL: <http://www.geigeki.jp/english/>

MAP 7-9 Tokyo Wonder Site

"TWS Aoyama:Creator-in-Residence Residency Program Exhibition"

April 2 (Sat.)-May 22(Sun.)

Venue: TWS Aoyama: Creator-in-Residence, TWS Shibuya, TWS Hongo

"TWS-Emerging 2011"

June 4 (Sat.)-October 23 (Sun.)

Venue: TWS Hongo

Hours: 11:00-19:00 Closed: Every Monday (open on national holidays and substitute holidays, but closed on days following holidays) Admission: Free URL: <http://www.tokyo-ws.org/english/> (Hongo, Shibuya and Aoyama) Phone: TWS Hongo: 03-5689-5331 / TWS Shibuya: 03-3463-0603 / TWS Aoyama: 03-5766-3732 Access: TWS Hongo: 7 mins walk from JR Ochanomizu Sta. TWS Shibuya: 8 mins walk from Hachiko Exit of JR Shibuya Sta. TWS Aoyama:Creator-in-Residence: 7 mins walk from Tokyo Metro Omotesando Sta.

Tokyo Culture Creation Project

The Tokyo Culture Creation Project is a project that the Tokyo Metropolitan Government and the Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture have been executing in collaboration with various arts-related organizations. The Project's objectives are to create and promote arts and culture that are unique to Tokyo, to develop children's rich sensibilities through arts and culture, and to create various local cultural focal points in Tokyo. The Project's activities include organization of various art events; facilitation of collaborative art programs between residents of Tokyo and artists; and operation of programs to provide children with the opportunity to experience arts and culture.

URL: <http://www.bh-project.jp/>

*For more information, visit each facility's website.

発行：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都墨田区横綱1-4-1 tel.03-5610-3503
企画：公益財団法人東京都歴史文化財団 事務局総務課企画広報係
編集：びあ株式会社
印刷・製本：光写真印刷株式会社
編集：齋藤由美、平原郁子、塚野清香(びあ株式会社) 取材・文：木谷節子、渋谷敦子
アートディレクション：一ノ瀬光太郎(株式会社ミニストリー・オブ・デザイン) DTP：エース企画
【村治佳織】撮影：福田栄美子

©Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture
本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。

公益財団法人 東京都歴史文化財団
TOKYO METROPOLITAN
FOUNDATION FOR
HISTORY AND CULTURE



「トキョーアートナビゲーション」
携帯サイトへGO!
公益財団法人東京都歴史文化財団各施設の
情報をチェックできます
→ tokyoartnavi.jp